

木で見直す、無垢のある暮らし。

# WOOD ONE

Toward a Creative  
Architectural Scene.

vol.7

家族のつながりが  
感じられる住まい。

無垢の  
やさしさに  
包まれて。



# ごろごろ転がっても平気! リフォームで叶えた自然素材のお家。



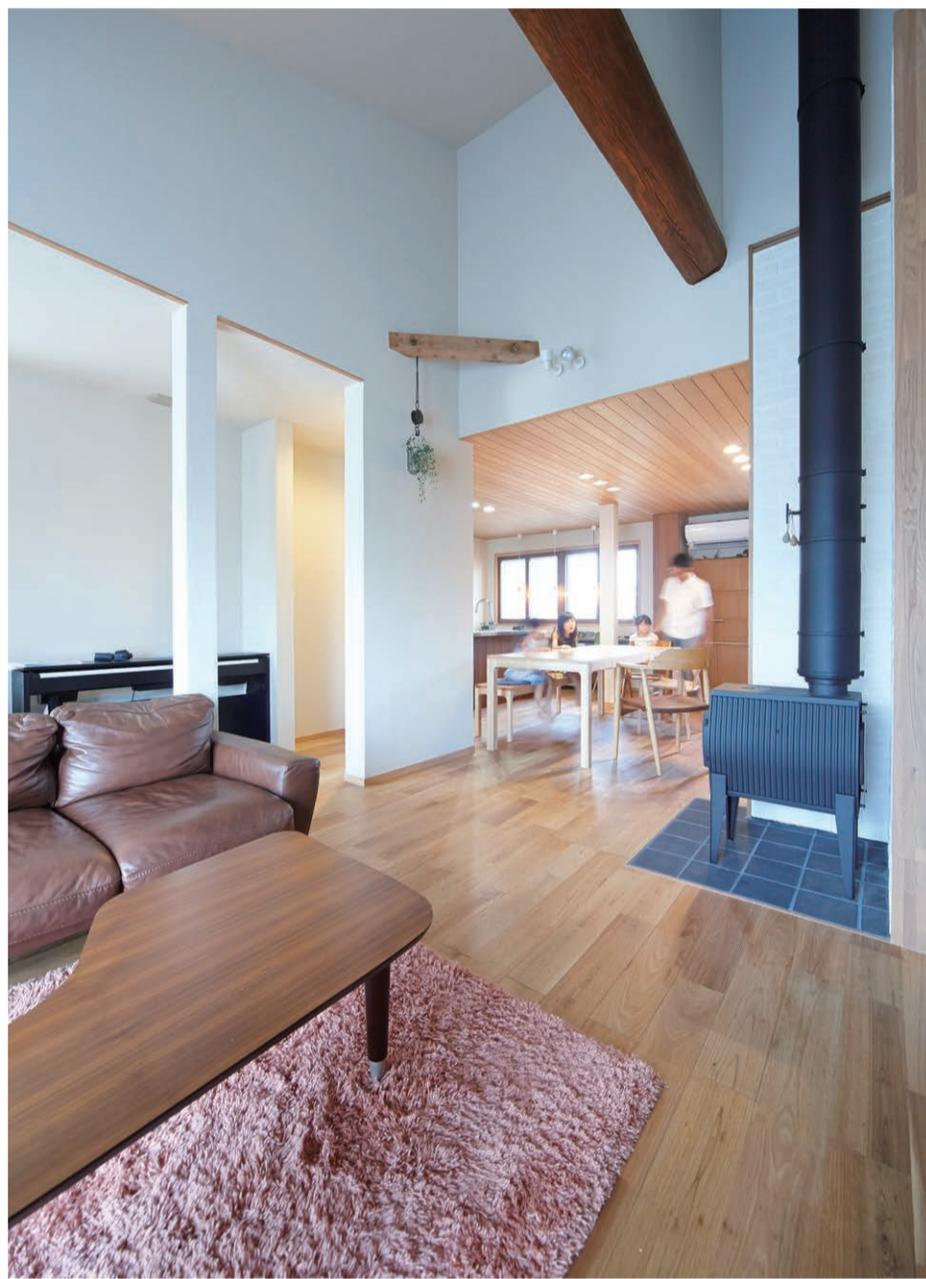
su:iji ニュージーバイン® NZ20 ミディアムブラウン色、テーブル・ベンチ su:iji ファニチャー メープル ※ワークトップは生産終了品になります。

愛知県小牧市、ご実家の2階をリフォームし、子供たちがのびのび育つ住まいを実現させた二世帯住宅。三姉妹のお子様がおられるM様ご家族のお宅です。以前はマンション暮らしでしたが、弟さんのご結婚・引っ越しを機に、ご実家の2階に移られました。M様はお父様と建築設計事務所を営んでおられ、リフォームにあたってはご自身で設計を担当。「私の会社はもともと木材業で、大工さんに木を卸す仕事を生業としていたそうです。木を得意とする会社だからこそ、無垢にこだわった家づくりをしようと方向転換しました」。このお家が、まさに自然素材中心の住宅第一号となりました。

玄関を入ると、天井裏にあった梁をわざとむき出しにさせ、無垢の表情が豊かな山小屋風のリビングが広がっています。ご主人いわく「帰ってくると必ず家族と顔を合わせる」設計。念願の薪ストーブが部屋のアクセントです。

子供たちの健康のためにも、なるべく自然素材を使いたかったというご主人。お子様三人、無垢材の床の上を、元気に裸足で走り回っています。「子育てしやすい家ですね」と奥様も大変喜ばれています。以前の住まいは、天井が低く、休みになると子供たちが外に出たがり、一日中は居られないお家だったのだとか。今ではご自宅で遊ぶことも増え、「ここに引っ越してきて良かった」とお子様たちも嬉しそうです。

無垢材にこだわるからこそ、建具には無垢ピノアース(自然塗料ホワイト色)、木の表情がやさしい「MOKUサッシ(内窓)」を取り入れ、天井にはピノアース羽目板を採用。スージーファニチャーの大きなメープルのテーブルやベンチも置かれ、家族が集う“木に包まれた”空間を演出されています。キッチンはもちろん無垢のスージー。ご主人のこだわりで、ワークトップは素材そのままの味が楽しめるステンレスを選ばれました。以前お使いのキッチンより奥行きがあり、家族5人分のお皿も並べられると大満足。ダイニング側の収納を一つだけにしたのは、奥様たってのご希望です。「女の子三人なので、手伝いやすいキッチンにしたい。収納の代わりに椅子を置けるようにしました。まだ下の子が小さいので全員ではないですが、先日、野菜を洗ってお皿に盛りつけてもらいましたよ」。ゆくゆくは、三姉妹が並んで手伝う光景が目に見えそうです。今、三姉妹が夢中になっている遊びがあるのだとか。休日になるとダイニングの大きなメープルのテーブルにご家族が集まってお絵描き。「このテーブルは瑞浪のショールームで出逢って、ひと目で気に入ってしまいました。ベンチも三姉妹が座るのに丁度いいですね」とご主人。今日も色鉛筆や画用紙を広げて、ご家族揃ってお絵描きです。



ニュージーバイン®…ウッドワンがニュージーランドで計画的に植林、育林したラジアータバインの登録商標です。



キッチン横の扉を開けると、プライベート空間。無垢ピノアース(自然塗料ホワイト色)をふんだんに採用。

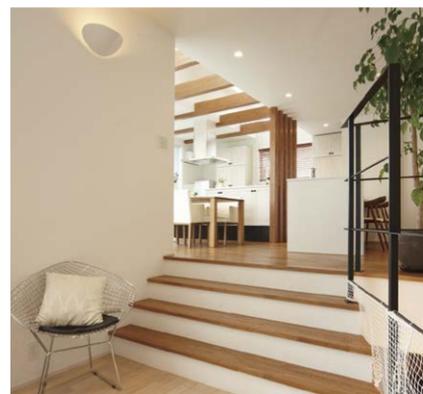
食事の支度をしながら宿題を見られるようにと、キッチン横に造作カウンターを設置し、窓には「MOKUサッシ(内窓)※」を採用。  
※無垢の温もりを添えながら、冬の寒さや結露を防ぐ機能性の高い内窓。



お絵描き好きは共通していても、一人ひとり性格も好みも違うという三姉妹。子供たちのこれからの成長がますます楽しみなM様ご家族です。



su:iji ニュージーパイン® NZ40 ホワイト色



“女性が主体の家づくり”という切り口で、「ミセスの家」をテーマに展開している住宅展示場が、群馬県高崎市にあります。その中でひと際、個性が感じられる真っ白の立体的なお家。玄関を入ると、目を見張るほど大きな無垢の扉があり、その横の階段を上ると“スキップフロア”と呼ばれる中二階リビングが広がっています。今回は、住宅デザイナー A氏監修のもと、建設に携わられた建築士のO様にお話を伺いました。

設計の際にこだわったのは、奥様の時間を想像し、それが叶えられる場所を作ること。キッチン的一角には、読書や裁縫など、趣味に使えるミセススペースが設けられています。そしてそれ以上にこだわったのは、キッチンを中心に、家族とのつながりが感じられることなのだとか。従来の住宅では、帰宅したご主人やお子様、夕飯の支度中の奥様と顔を合わせるには物理的に距離がありました。このお家では、キッチンに立つ奥様が大きな窓から、帰宅する家族の姿を確認できます。また、ご家族にとっては、台所の灯りの下へ帰ってくるような感覚になれるお家です。

あたたかみを感じる家づくりという点で、素材にもこだわったというO様。「全体的に無垢材を取り入れています。木材の茶色を中心に、白、黒の3色を基調にバランス良く作っています」。見て、触れて、香りを感じて、さらに経年を楽しむことができる住まい。キッチンも同様に、使う人に似た歳の重ね方があるからこそ、木製キッチンは譲れないポイントでした。「最初から無垢のキッチン、スウィーシカ頭になく、この家のバランスから考えても白がぴったりでしたね」とO様。ニュージーパイン®のホワイト色を採用されています。二世帯で住んでいただける住宅提案もされており、家族の食器類がスッキリ収まる、大容量のカップボードも備えられています。キッチンと同じニュージーパイン®(ホワイト色)の表情が、空間に統一感を持たせながら、自然光とともにお部屋を明るく演出しています。

家族との暮らしを支えるもの、家族の中心に置きたいもの。その答えを一緒に探すことをモットーに家づくりをされてきたO様。キッチンに立つ奥様を中心に考えるからこそ、子供部屋をキッチン空間のすぐ隣に配置し、また、キッチンのすぐ横に、広々と勉強できる学習テーブルを設置。奥様が料理をしながら、子供の勉強を見てあげられることを想定されています。「実はキッチンの横の柱。群馬の杉なんです」。奥様が毎日立つ場所だからこそ、その土地の木を取り入れられているのだとか。家族とのつながりが感じられる立体的なお家。群馬の杉が、共に時を重ねていく奥様とご家族の姿を見守ってくれることでしょう。

# 無垢のキッチンを中心に 家族がつながる、やさしい住まい。



ニュージーバイン®…ウッドワンがニュージーランドで計画的に植林、育林したラジアータバインの登録商標です。



ベッドルームなどの室内はもちろん、  
テラスの天井にも木材をふんだんに使用。



大きな無垢の扉を開けると、  
いっそう開放感に溢れるエントランスに。



取材当日も、早朝から現場対応されていたO様。  
注文住宅も多く手掛けられ、時間を掛けて  
ご家族の住まい方を話し合い、設計されています。



# 無垢のあたたかみと 女性の細やかな視点が融合。





千葉県香取市の緑豊かな土地に立つ、ドッグランを備えたモデルハウス。至る所に細やかな女性視点が生かされた、ほどよく和が調和したお家です。「女性がつくる女性に優しい家」をコンセプトに家づくりをされている、代表取締役のH様にお話を伺いました。もともと新建材を用いた注文住宅が中心だったH様でしたが、無垢材を使いたいと思っておられました。経年変化の懸念があったものの「実際に見てみないと分からない」と、無垢材を中心に建てた住宅を見学したところ、それまでの迷いが飛んでいったのだとか。「築13年のお家でしたが全く問題ない。これはいける!と思いました」。お客様には実際に見ていただかないと伝わらない。そう考え、自然素材にこだわったモデルハウスを建てられました。

新建材は使わず壁にも珪藻土を使用したこのお家は、玄関に入ると、木の香りがふわりと漂います。見学に来られるお客様の第一声も「いい香り!」なのだそう。家の中心では屋根まで届きそうな一本の柱がズシンと構え、木に囲まれるような空間に、無垢のキッチン、スィーザーがびたりと納まっています。「無垢にこだわりましたから、キッチンはスィーザーと決めていました」。もともとウッドワンからの勧めでショールームに行ったことがきっかけ。H様が思い描くイメージに、スィーザーのオークがびたり

だったのだとか。「特別に、キャビネットの横にコンセントを付けてもらいました。キッチンは、電化製品を使うことも多いですよ。ここで料理教室もしていますが、役立っていますよ」。IHクッキングヒーターに慣れてほしいという思いで始めた料理教室には、毎回6~7名のお客様が参加される評判ぶりです。

キッチン収納が充実しているのは、主婦であるH様のこだわり。お家全体にも収納をたっぷり確保。「メンテナンスでお客様のお家に伺うと、これ以上置く物が無いというくらい収納が余っていましたね」。いずれ子供の成長と共に荷物は増えてゆく。主婦の経験から、将来を見越した収納設計をされています。

「階段はリビングの中心に。吹き抜けも欠かせません」と、家族のつながりが感じられる家の造りもH様のこだわり。「昔の日本家屋は、襖一枚で子供の気配が感じられました。家族の気配が感じられる家をどんどん増やしていきたい」。家族を大切に考える気持ちが、このお家に込められています。

時には洗濯物を干す位置まで相談に乗ったりなど、お客様の良き相談相手になりながら、家づくりを行うというH様。今日も、まるで友人宅に遊びに来るかのよう、女性のお客様がお一人で見学に来られていました。



日本民家の中心にある最も太い「大黒柱」を思わせる、屋根裏まで届く柱。



一列のみ、かわいい野菜の絵入りタイル。女性らしい遊び心が効いています。



室内だけではなく外観にもこだわりたいというH様。古い町並みを残す香取市佐原の地域性に影響され、和を身近に感じておられます。



間口945mm 片引出仕様NZ50 ナチュラル色 ¥452,500(税別)

ポウルセット、タイルカウンター、水栓など、お好みの組合せをお選びいただけます。詳しくはカタログをご覧ください。  
※弊社営業までお問い合わせください。



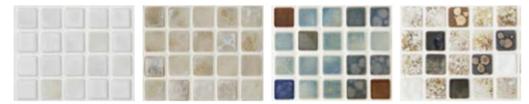
## その場所にほしかったのは、木の温もり 無垢の木の洗面台

無垢のキッチン、スージーのニュージーパイン®に合わせて、サニタリースペースもコーディネートできる無垢の木の洗面台が登場。ニュージーパイン®の扉を用いた造作風洗面台を規格化しました。お好みのタイルカウンターやキャビネットなどを組み合わせるだけで仕上がる省施工。手の届く価格で、温もり溢れる空間に演出できます。ニュージーパイン®…ウッドワンがニュージーランドで計画的に植林、育林したラジアータパインの登録商標です。

### ● 規格化されたタイルカウンターは4柄から選べます。



日本を代表する陶器の一つ、伝統的な美濃焼の製法で作った高品質のタイルを使用しています。



PA (ホワイト) PB (ベージュ) PC (ミックスブルー) PD (ミックスブラウン)

### ● 無垢の扉は、3つのデザイン・3色から選べます。

ニュージーパイン®の扉は、使っていく中でゆっくりと変化していく表情や色合いも魅力です。



NZ50



ナチュラル色 ホワイト色

NZ30



ナチュラル色 ホワイト色 ミディアムブラウン色

## 木のある紀行 ④



千葉県香取市佐原、ここは日本で初めて実測による全国地図を作った伊能忠敬ゆかりの土地としても有名です。古い町並みの小野川沿いを歩いていくと、伊能氏旧邸前に、「ジャーチャー橋」。江戸時代から300年近く農業用水を送り続けた大桶の名残で、その情緒溢れる音が再現されています。小野川兩岸とその周辺は、江戸時代から、問屋や醸造などの商工業者が軒を連ねていました。今でも昔からの家業を引き継ぎ、営業を続けている商家が多いことから、「生きている町並み」と評されているのだとか。取材先様から教えていただいた、美味しいと評判のイタリアン「ワーズ」も味わいのある建物に「洋麺店」の看板がレトロな雰囲気。ここでは食事をしながら歴史的景観が楽しめる、その景色も、まさに「ごちそうです。またゆつくり訪れよう、そう思わせる佐原の町並みでした。

Back Number

バックナンバーもご用意しています。ご請求は最寄りの営業所へお気軽にお問い合わせください。



vol.1

スージーの3つの納入実例を掲載。断熱リフォーム「+ECO Reform」の紹介。



vol.2

スージーの2つの納入実例を掲載。無垢の床マット「びたゆか」の紹介。



vol.3

スージーの3つの納入実例を掲載。新登場のスージー、ウォールナットの紹介。



vol.4

スージーの3つの納入実例を掲載。スージートリコとダイニングファニチャーの紹介。



vol.5

スージーの3つの納入実例を掲載。無垢の木の内窓「MOKUサッシ」の紹介。



vol.6

スージーの3つの納入実例を掲載。無垢ピノアスシリーズの紹介。

スージー取材物件

募集中

【詳しくは弊社営業までお問い合わせください。】

※2014年時点の施工現場のため、現在は仕様変更・生産終了となったアイテムが含まれております。

